







## 聞こえる人と聞こえない人の

## 「音楽」を めぐるトー

「音楽」は聞こえる人だけのものではない。 聞こえない人の音楽とは? ろう者と聴者のアーティスト、ダンサー、音楽家 たちが集まって音楽の新たな可能性について議論 します。

## 東京藝術大学

上野キャンパス中央棟第一講義室 台東区上野公園12-8



7月16日 2 18:30~20:30

申し込み不要・先着100名 手話・和英通訳つき

同日開催プログラム 牧原依里·雫境(DAKEI) 共同監督 映画『LISTEN リッスン』上映会

16:00~17:00(15:30開場)

東京藝術大学上野キャンパス 大学会館2F 国際芸術創造研究科上野講義室

お問い合わせ mino2019@ml.geidai.ac.ip

写真:映画『LISTEN リッスン』 (2016) より

東京藝術大学では、音楽学部と美術学部の枠を超え、聞こえる 人と聞こえない人の境界を超えて「音楽」について語り合う トークイベントを行います。

ろう者の映画監督牧原依里は「無音から生まれる音楽はある」と考えてきました。例えばミュージカル映画の『ウエストサイド・ストーリー』や阿波踊り、ピナ・バウシュ舞踏団の踊りの躍動から「音楽」が感じられたと彼女は語っています。そしてろう者の舞踏家雫境(DAKEI)とともに映画『LISTEN リッスン』 (2016)を制作します。無音の58分の作品中に、ろう者が作り出す様々な「音楽」の表現が描き出された作品は大きな反響を呼びました。

聞こえない人の音楽とはどのようなものなのでしょうか?ろう者の表現者と聴者のアーティスト、音楽家など異なる経験を持つ人たちがともに考え、語り合うことによって、これまで当たり前に捉えてきた「音楽」とは異なる、新たな音楽の可能性を探ります。

## ■登壇者紹介



牧原依里(まきはらえり) 聾の鳥プロダクション代表、映画 作家。「ろう文化」の視点から世界 を捉えた映画表現を実践している。 ろう文化の分析と普及に努める。



電境(DAKEI) 舞踏家、アーティスト。東京藝術大学大学院美術研究科博士課程修了。国内外で舞踏家として活躍、公演、ワークショップを展開している。



小野龍一(おのりゅういち) 音楽家、アーティスト。東京藝術大 学音楽学部作曲科卒業後同大学 院美術研究科修士課程修了。 「音」に頼らない音楽について考察 している。



和田夏実(わだなつみ) アーティスト、インタープリター。ろう 者の両親のもと、手話を第一言語 として育つ。ろう者と聴者をつなぐ 文化的通訳、インタープリターとし て活躍している。



日比野克彦(ひびのかつひこ) 東京藝術大学美術学部長、アー ティスト。アートの特性と現代社会 の課題をテーマとしたアートプロ ジェクト「TURN」を監修。



熊倉純子(くまくらすみこ) 東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科長。プロジェクトを通してアートマネジメントの専門人材を育成。アートと市民社会の関係を模索し、文化政策を提案する。



荒木夏実(あらきなつみ) 東京藝術大学美術学部准教授、 キュレーター。牧原らを通してろう 文化に興味を持ち、本イベントを企 画。アートと社会の関係に注目して いる。

主催:東京藝術大学

美術学部先端芸術表現科 国際芸術創造研究科アートロデュース専攻 美術研究科グローバルアートプラクティス専攻



共催:東京藝術大学ダイバーシティ推進室